

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回枚方市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和4年8月10日（水）16時～17時30分
開 催 場 所	枚方市役所 別館 4階 特別会議室
出 席 者	会長：高見委員、副会長：木村委員 委 員：草部委員、関委員、田川委員、谷口委員、西邨委員、浜田委員 村島委員、阪本委員
欠 席 者	伊原委員、中島委員
案 件 名	1. 開 会 2. 諮 問 3. 審議会の運営について 4. 枚方市スポーツ推進計画の中間年度における総括及び必要な見直しについて 5. その他
提出された資料等の 名 称	資料1 枚方市スポーツ推進計画の中間年度における総括及び必要な見直しについて 資料2 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿 参考資料1 運動やスポーツに関するアンケート調査 （一般市民用、関係団体、スポーツ推進委員、指導者） 参考資料2 枚方市スポーツ推進計画概要版 参考資料3 スポーツ基本法抜粋 参考資料4 枚方市スポーツ推進審議会条例(平成28年3月14日条例第3号) 参考資料5 枚方市情報公開条例（抜粋） 参考資料6 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程 参考資料7 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議は公開、会議録は全文筆記で作成の上、会議録の確定後に公開することに決定 ・ 枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書及び施策一覧について確認し、今後の方向性について共通認識を持った ・ 審議会メンバーが共通して、新年度の主なスポーツイベントについて事業内容を把握できるよう、事務局より情報提供することに決定
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別 及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署（事務局）	観光にぎわい部 スポーツ振興課

審 議 内 容

(開会 16時)

【令和4年度 第1回枚方市スポーツ推進審議会】

1. 開 会

(高見会長) 定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第1回枚方市スポーツ推進審議会を始めさせていただきます。

オリンピック・パラリンピックのレガシーをどのように残していくのか。コロナ禍で、いろんな施策、取組がなされたり、ストップしたり、健康意識も変わってきている中、枚方市としてどう取り組んでいくのか重大な問題。学校の部活動、外部指導等の委託の話もでてきている。学校・地域・行政がどう関わっていくか、その力が試されている。

今日は、スポーツ推進計画の話を伺っていくのですが、平成29年に計画を策定してから現在では社会は大きく変わっている。社会の動きの速さに対応していく必要があるため、皆様のご意見をお聞きしたい。それでは、開会にあたり、観光にぎわい部長よりご挨拶をいただきたいと思います。

(観光にぎわい部長) ただいま、ご紹介にあずかりましたわたくし観光にぎわい部部長の野田と申します。観光にぎわい部の部長として、4月に異動となりまして、皆様とは初めてお目にかかります。本日は、猛暑の中、またコロナ禍の中、令和4年度第1回枚方市スポーツ推進審議会にご出席いただき、ありがとうございます。

さて、本市では、スポーツやレクリエーション並びに健康、体力づくりを総合的かつ計画的に推進するため、平成29年3月に『枚方市スポーツ推進計画』を策定しました。

計画の策定後は、審議会委員の皆様にも、毎年度、計画の進行管理について確認をしていただいているところでございます。

今年度は、計画の中間年度にあたることから、アンケート調査を実施し、これまでの取組状況について総括するとともに、施策の課題の洗い出しや改善点の検証を行ったうえで、後期に取り組むべき施策を検討する予定です。このため、令和4年度は本日の会議を含めまして3回程度、審議会を開催する予定としており、委員の皆様にも多くのご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

(高見会長) 本日の審議会の出席委員の報告を事務局よりお願いいたします。

(事務局) 本日の出席委員につきまして、新しく委員に就かれた方もいらっしゃいますので、始めに委員のご紹介をさせていただきます。

また、事務局についても、合わせてご紹介をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、順に委員の皆様をご紹介させていただきます。関西医科大学 教授の木村穰委員でございます。大阪国際大学教授高見彰委員でございます。続いて、枚方市スポーツ少年団ですが、委員の変更の申し出があり、今回新たに就任いただく本部長の関輝委員でございます。続いて、枚方市スポーツ推進委員協議会ですが、委員の変更の申し出があり、今回新たに就任いただく会長の草部正和委員でございます。枚方市肢体不自由児父母の会の田川健児委員でござい

ます。枚方市老人クラブ連合会の谷口憲一委員でございます。枚方市中学校体育連盟の中島毅士委員でございます。公益財団法人枚方市スポーツ協会会長の西邨定実委員でございます。枚方市コミュニティ連絡協議会幹事の浜田坦委員でございます。株式会社FCT I AMO代表取締役の村島孝史委員でございます。市民公募の阪本将輝委員でございます。また、本日も都合により欠席されておられる委員のご紹介をさせていただきます。大阪体育大学教授の伊原久美子委員でございます。なお中島委員につきましては、所用のため到着が少し遅れているようですので、まもなく到着されると思います。以上10名の委員の皆様にご審議を行っていただきます。

引き続きよろしくお願ひいたします。また、本日は、委員12名中、10名の委員の皆様にご出席いただいております。枚方市スポーツ推進審議会条例 第7条第2項に規定する「2分の1以上の出席」を満たしているため、この審議会の会議が成立していることをご報告いたします。それでは、続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。野田観光にぎわい部部長でございます。異スポーツ振興課 課長でございます。藤原スポーツ振興課係長でございます。有村スポーツ振興課主任でございます。最後に、私、スポーツ振興課課長代理の森田でございます。また、今回中間年度にあたりましてアンケートの集計・分析を委託しておりますサーベイリサーチからご出席をいただいております。

(サーベイリサーチセンター)小林です。よろしくお願ひいたします。

(事務局)以上でございます。皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2. 諮問

(高見会長) ありがとうございます。それでは次に諮問についてですが、事務局からお願ひします。

(事務局) それでは、審議会への諮問をさせていただきます。諮問につきましては、観光にぎわい部長の野田から高見会長に諮問書をお渡しいたします。それでは、高見会長、野田部長、前のほうにお越しく下さい。なお、今後の記録の為、写真を撮影させていただきますので、ご協力を宜しくお願ひ致します。

(野田部長) 〈諮問の受け渡し〉

(高見会長) ただいま諮問をいただきました。どうぞ、皆様よろしくお願ひいたします。

(事務局) 諮問につきましては、ただいま事務局から配布させていただきますので、委員の皆様もご確認くださいませよう、お願ひいたします。それでは、これからの進行につきましては、会長にお願ひしたいと思ひます。

(高見会長) それでは、調査審議を進めていきたいと思ひます。まず、事務局より、資料の確認をお願ひします

(事務局) はい。本日の配付資料でございますが、

●次第

●資料1 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿

●資料2 枚方市スポーツ推進計画進行管理報告書(令和元年度・令和2年度実績)

●資料3 スポーツ施策一覧(令和元年度・令和2年度)

参考資料1 枚方市スポーツ推進計画概要版

参考資料2 スポーツ基本法(抜粋)

参考資料3 枚方市スポーツ推進審議会条例

参考資料4 枚方市情報公開条例（抜粋）

参考資料5 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程

参考資料6 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領

となっております。資料に過不足などはございませんでしょうか。

3. 審議会の運営について

(高見会長) それでは、**案件3「審議会の運営について」**、事務局より説明をお願いします。

(事務局) はい。それではまず、会議の公開及び傍聴に関する取り扱いについてご説明させていただきます。**参考資料3**「枚方市スポーツ推進審議会条例」をご覧ください。裏面になりますが、第8条「会議の公開等」の第1項において、審議会の会議は「公開」として規定されています。ただし、第8条第1項第1号及び第2号に該当する場合は、非公開とすることが出来ております。本会議についてはこれらに該当する項目がありませんので、原則通り公開することとします。なお、第1号に記載されております、「枚方市情報公開条例」第5条の規定につきましては、**参考資料4**で条文を抜粋して掲載しておりますのでご確認ください。また、**参考資料3**の「枚方市スポーツ推進審議会条例」の第8条第2項で、「会議録を作成しなければならない」となっておりますが、その記載方法につきましては、**参考資料5**「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」3ページ、第6条4項のとおり、審議の経過が分かるように、発言者及び発言内容を明確にして記載されるものとされております。このため、委員の皆さんの発言内容につきましては、全文筆記という形で会議録を作成することを考えております。同じく**参考資料5**「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」の4ページをご覧ください。第7条の3におきまして、会議録については、会議録の確定後速やかに一般の閲覧に供するものとされておりますので、ご確認ください。次に、会議の公開にあたり、傍聴手続等を定める必要がございます。

参考資料5「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」の2ページの第4条第3項には「審議会は、その会議の公開にあたっては、当該会議が公正かつ円滑に行われるよう、傍聴に係る手続その他必要な事項を決定する」とあります。恐れ入りますが、**参考資料6**をご覧ください。本審議会における、傍聴に係る手続その他必要な事項として、「枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領」を定めておりますので、これに沿って、傍聴について取り扱うものとして考えております。以上、会議の公開、傍聴に関する取り扱い等について、ご審議をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(高見会長) それでは、事務局から本審議会の運営について説明がありましたが、委員の皆さん、この件について何かご意見などございますでしょうか。特にございませんでしたら、本審議会の会議を「公開」して、「会議録を全文筆記で公表」するものとさせていただきます。

また、傍聴に関する手続についても、事務局提案のとおりとします。よろしくお願いいたします。

(事務局) 傍聴者はございません。

それでは、案件審議に入っていきたいと思っております。「枚方市スポーツ推進計画」は、平成28年度の審議会で、各委員の専門的見地から活発なご意見をいただき、平成29年3月に策定されました。その後、本計画で示す方針に基づいた事業をより実効性のある取組につなげるため、各事業の実績や今後の取組の方向性について、審議会で点検・評価を進めてきました。

今年度は、計画期間である平成29年度から令和9年度の間年度に当たることから、計画期間の前半の総括を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4. 枚方市スポーツ推進計画の中間年度における総括及び必要な見直しについて

(高見会長) それでは、案件(4)「枚方市スポーツ推進計画の中間年度における総括及び必要な見直しについて」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは、事務局からご説明をさせていただきます。先ほど会長からも説明がございましたが、今年度は中間年度にあたるため、それまでの取組状況について総括を行い、検証を行い後期に取り組むべき具体的施策の見直しや、新たな取り組みを設定するなどを行いまとめるものです。

本日の会議では、まずはスケジュール等の確認と審議内容の共有が主となるかと思いますが、各委員から忌憚のないご意見を頂きながら、進めてまいりたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。スポーツに関してはこの間、2019年のラグビーワールドカップや今年の1年遅れではありますが東京オリンピック・パラリンピックなど大きなスポーツイベントが開催され、多くの感動が与えられた一方で、いまだに続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、施設の閉鎖などでスポーツをする機会を奪われるといった状況になりました。そのような中で、スポーツの重要性やその価値が見直されるといったこともスポーツ庁ではうたわれています。

また、「する」だけでなく、「観る」スポーツにも注目が集まる中、本市においても、市駅前でのアリーナ整備についても検討を進めているといった、そのような取り巻く状況、社会情勢も踏まえながら中間評価を行っていきたいと考えておりますので、よろしくお祈りいたします。それでは詳細につきまして、担当からご説明させていただきます。

(事務局) はい。委員の皆様には、お忙しいところ事前に資料をご確認いただき、ありがとうございました。それでは、案件(4)枚方市スポーツ推進計画の中間年度における総括及び必要な見直しについて、ご説明させていただきます。

(事務局) <案件(4)について説明>

(高見会長) それでは、案件(4)枚方市スポーツ推進計画の中間年度における総括及び必要な見直しについてにつきまして、ご意見・ご質問等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(谷口委員) 男女2,000人とあるが、男女それぞれ選ぶのか。合わせて2,000人ということか。

(事務局) 男女合わせて2,000人である。

(谷口委員) 枚方市の人口で、2,000人の対象は少ないのではないかと。前回と同様にしているのはわかるが。

(高見会長) アンケートの対象となる人はどのように選ぶのか。

(事務局) 庁内の担当部署に依頼して、統計的に問題のないよう抽出を行う。

(谷口委員) ランダムに行うということですね。

(事務局) 今回、対象年齢は18歳以上なので、10代では18・19歳のみ対象となるため、少ない。ただし、無作為の2,000人に加えて、他の関係団体や推進委員、指導者などスポーツをされている方に広くアンケートを取る予定としている。

(関委員) アンケートの追加は難しいと思うが、各自治会がどのような活動をしているのかのアンケートをとってもよいのではないかと。私もであれば、卓球大会やポッチャなどを自治会の活動として行っている。自治会にはスポーツ推進委員がいらっやって昔はみんな集まって、体育祭や盆踊りをしていた。最近の自治会の活動はどうなっているのかということや、高齢者がどれだけ参加したのかといったことの方角性も盛り込むことができれば、自治会の活動と考え

ている。

(浜田委員)問4でお住まいの中学校区はとなっているが、なぜ小学校区ではないのか、理由を教えてください。一般的には小学校区ではないのか。学校開放なども小学校区単位である。私もそうだが、中学校区よりも小学校区の方が覚えている。

(事務局)前回のアンケート実施時と同様にどのエリアにお住まいなのか、参考情報として把握するためである。コミュニティ、小学校区単位であるスポーツ推進委員にもアンケートを取る予定なので、小学校区の活動は吸い上げることができると考えている。また、小学校区にすると45校区となり、エリアとして中学校区よりもかなり多くなってしまう。

(浜田委員)地域の活動等は推進委員が窓口となっているため、その実態などについてはアンケートで吸い上げられるということか。

(事務局)そうである。

(高見会長)今回2,000人という規模になるので、小学校区として細分化し過ぎず、中学校区単位でよいのでは。

(浜田委員)2小1中制なのでわからなくもないが、スポーツ推進委員の皆さんがそうしたことを理解してくれているのか気にはなる。

(関委員)一番悩んでいるのは、スポーツ推進委員ではないのか。スポーツ少年団は大きな組織が母体にあるが、推進委員はそれがない。アンケートでどういう結果がでるのかと思う。

(西邨委員)関係団体向けのアンケート用紙の問1で、名称の変更をお願いしたい。体育協会からスポーツ協会へ変更してほしい。

(事務局)訂正します。失礼しました。

(高見会長)コロナの影響というので、新しい項目が入っているが、プロスポーツに限ってコロナの影響を聞いている。コロナ前の状態にはすぐには戻らないと思う。ウィズコロナで進めていかなければならない。コロナの影響で地域の皆様のスポーツ環境がどう変わったのかを聞いておくと、この後のウィズコロナでのスポーツ推進が少し見えてくるのではないかと思う。村島委員。プロのスポーツ観戦というところでどう感じるか。

(村島委員)ウィズコロナなので、コロナだから中止するのではなく、コロナにどう向き合っていくかに各スポーツ団体は力を入れていると思う。

(高見会長)それぞれの調査で、例えばスポーツ推進委員の皆さんへのアンケートであれば、コロナ禍の中でスポーツを推進していくにはどんなことが必要ですかとか、どんなことが壁になっているとか、市民に対しては、コロナ禍でのマイナス面はありますかとか、どんな環境がそろえばスポーツに打ち込めますかとか、そういう項目があればよいと考える。コロナをどう乗り越えていくのかということが、スポーツ推進計画の後期の要になると思う。

(浜田委員)地域スポーツについて。枚方市でも8月頃からコロナ感染者が増えている。感染者が増える前、6、7月はある程度ソフトバレーとかグラウンドゴルフなどを合同で行っていたウィズコロナで、感染者数が増えたら活動をストップし、地域でのスポーツ行事も止めてきた体育祭は45校区のほぼ全てで2年実施していない。8月には、大阪府知事が高齢者の外出を控えるようにとあったので、高齢者も来られるので、うちの平野校区では活動を止めた。とはいえ、いつまで経ってもコロナは終わりが見えない。地域のコミュニティとしては、行事など全

部やらないのではなく、できるだけスポーツの機会を設けようと思っている。

(高見会長) スポーツ推進委員はコロナの影響はどうか。

(草部委) 任期が7月で満了のため、継続の委員もいるが委員は8月から変わっている。新しく推進委員になった方がどれくらい地域と関わっているのかわからない。

(浜田委員) 平野校区のスポーツ推進委員は、座って玉入れなどをしていた。殿二校区では、ポッチャをしていた。できる範囲で、ウィズコロナで様子を見ながら、グラウンドのほうが環境的によいとか、体育館は風通しが悪いから控えておこうなど、状況に応じてやっている。平野校区では、新しく座って玉入れを進めていく予定である。あまりにもコロナが減らなければ再度考える。

(高見会長) 今度のアンケートで、そのあたりのやる側の考え方とか、やってもらう市民の考え方など、そういったことをつかめたらいいように思う。指導する側がこのように進めているが、市民の方は、スポーツ実施率を65%にあげる上で、コロナがどのような足かせになっているのか、どんなふうに克服できたのか、聞ければよいと思う。

(事務局) 検討させていただく。特にスポーツ推進委員やスポーツ関係団体などにお伺いするアンケートの自由記述の中で、ウィズコロナの中でどんなことができるのか、現状などを聞く設問を追加することについても検討する。

(高見会長) 木村先生にお伺いするが、今後コロナがなくなることはないとお思いか。

(木村委員) ないと思う。飲食やイベントのガイドラインはいろいろ出ているが、スポーツには具体的なガイドラインがない。地域で実施する時などは、換気など、スポーツ医学会が出しているものなどを参考に「ガイドラインを理解しているか」など確認することは必要。コロナは空気感染が主なので、密を避けて実施すればよいとか、そういった内容の情報提供を行い、安全なスポーツのやり方について発信を行っていくほうがよいのではないかと。

あわせてだが、審議会に枚方市医師会など医療機関が入っていない。スポーツ、運動という身体活動として、医療としては捉えている、身体活動となると医療機関も医師も積極的に関与するように時代は変わってきている。そうすると、医師に審議会委員になっていただくことも、ゆくゆくは考えてもよいのではないかと。東京都医師会と東京都議会では「医療が運動を推進する」と宣言をされている。医療機関を入れてもよいのではないかと。運動をしなさいと医者に言われても、実際にどこに行けばよいかかわからないので、それをスポーツ推進委員が受け皿になれば。医療からスポーツに流れていくように、医者が情報を患者に紹介できる仕組みが必要ではないかと。もっと医療とリンクしていくことが必要だと思う。

(事務局) 健康寿命という言葉も入っているが、そもそも市の健康担当部署とも連携ができていない。まずは、内部で情報共有しながら連携していきたい。

(高見会長) 柱の中に医療の観点を入れるのはよいと思う。

(阪本委員) 一般市民や指導者向けのアンケートの内容に、コロナ禍からの運動への復帰などとともに、関節疾患などの関連があれば、医療の方の参加の必要性がでてくると思う。アンケートの結果を反映する意味でも、アンケートでコロナ後のマイナス面がつかめれば、医療とも連携できるのではないかと。

(事務局)健康寿命という言葉も入っているが、そもそも市の健康担当部署とも連携ができていない。まずは、内部で情報共有しながら連携していきたい。

(高見会長)柱の中に医療の観点を入れるのはよいと思う。

(阪本委員)一般市民や指導者向けのアンケートの内容に、コロナ禍からの運動への復帰などとともに、関節疾患などの関連があれば、医療の方の参加の必要性がでてくると思う。アンケートの結果を反映する意味でも、アンケートでコロナ後のマイナス面がつかめれば、医療とも連携できるのではないかな。

(浜田委員)木村先生にお伺いしたい。5月から6月に牧野校区で高齢者を対象にした取組として、関西医大が独自でデータをとられたと聞いているが、ご存知か。これと関連して、文科省が示す基本的な体力測定がある。コミュニティとしては、それを校区全体でやっていきたいと思っている。まずはそのモデルとして平野校区での実施を考えている。3年か5年と続けるような計画を立てデータをとろうと思っている。

(木村委員)牧野校区での事業には関わっていた。リハビリテーション学部の取組みで、リハビリなどでもスポーツを取り入れようとしている。

(高見会長)地域ごとに体力測定して、データを集めるのはよいと思う。エビデンスを出すことで、運動をしようとするきっかけにもつながると考える。

(田川委員)障害者スポーツは、アンケートで吸い上げられていないように感じる。障害者のスポーツのことがあまり書かれていないのではないかな。2,000人を対象にアンケートを取っても、枚方市の障害者の方がどれだけ入るのか。障害者のスポーツを推進する上で、このアンケートでは意見が出てこないのではと思う。どういう内容にすればよいのかはわからないが、障害者に対しての設問がないような気がする。

(高見会長)関係団体の中に、障害者スポーツの団体も入るのかな。

(事務局)計画の策定時にも、そういったご意見を頂戴しており、2,000人とは別に福祉団体を通じて障害者の方100人程度にアンケートをとり、計画に反映させている。中間評価に当たっても、同様に団体を通じて障害者の方にアンケートを実施していく予定である。

(高見会長)時間も来ているが、皆様いかがでしょうか。ここで終わりではなく、他に何かありましたら、事務局に言っていただければと思う。

5. その他

それでは、案件5その他について、事務局より、説明をよろしくお願ひいたします。

(事務局)委員皆様の任期につきましてですが、令和4年11月15日までとしております。本来であれば、新たに次期委員の方に令和4年11月16日より委嘱期間であります2年間委嘱を行うこととなりますが、本日も説明させていただいたとおり、今年度は中間年度にあたる評価を1年かけて継続して調査審議を行っていただくので、今年度末まで、今の委員の方に引き続き委員を担っていただければと思います。また、後日個別に委員の皆様のご意向をお伺いしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

(高見会長)ありがとうございます。その他、事務局からあればお願ひします。

(事務局)本日の審議会の会議録ですが、完成次第、郵送やメール等で送付させていただき、ご確認をお願ひしたいと思ひますのでよろしくお願ひします。また、次の審議会につきまして

は、この後アンケートを実施・集計・分析後、12月の開催を予定しております。日程につきましては、近づきましたら改めてご連絡をさせていただきます。

(高見会長)では、これをもちまして、令和4年度第1回枚方市スポーツ推進審議会を閉会とします。みなさん、お疲れ様でした。

コロナの影響に関する質問項目

①市民アンケート

問21. 新型コロナウイルスの感染拡大（2020年3月頃）以降において、あなたが運動・スポーツを行う環境には、どのような変化がありましたか。（〇はいくつでも）

問27. 新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたら、プロスポーツやトップアスリートが参加するスポーツについて、開催会場や間近で直接観戦したいですか。（〇は1つ）

②関係団体(スポーツ少年団、スポーツ協会加盟団体)

問12. 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。（〇は1つ）

1. 影響が出ている
2. 現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う
3. 今後も影響はないと思う
4. わからない

③スポーツ推進委員

問12. 新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。（〇は1つ）

1. 影響が出ている
2. 現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う
3. 今後も影響はないと思う
4. わからない

④指導者(スポーツ少年団指導者、中学校の運動部顧問)

問18. 新型コロナウイルス感染症の流行は、スポーツ(部活動)指導者としての活動に影響を及ぼしていますか。（〇は1つ）

1. 影響が出ている
2. 現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う
3. 今後も影響はないと思う
4. わからない